

あなたの事業を、次のステージへ



小規模事業者持続化補助金 活用完全ガイド

なぜ今、多くの小規模事業者が 「変化」を迫られているのか？

現代の経営環境は、小規模事業者にとって厳しい課題を突きつけています。
これらの変化へ柔軟に対応し、事業を持続・成長させることが不可欠です。



物価高騰



賃上げへの対応



インボイス制度導入



その挑戦を力強く後押しする 「小規模事業者持続化補助金」 とは？

中小企業庁が実施する、小規模事業者のための支援策です。



販路開拓

新しい顧客を獲得し、売上を拡大するための取り組みを支援します。



生産性向上

業務を効率化し、より少ないリソースで成果を出すための投資を支援します。

Q. 私は補助金の対象になりますか？

日本国内に所在する「小規模事業者」が対象です。フリーランスや個人事業主、特定の要件を満たすNPO法人も含まれます。

	業種	常勤の従業員数
✓	商業・サービス業（宿泊・娯楽業除く）	5人以下
✓	サービス業のうち宿泊業・娯楽業	20人以下
✓	製造業・その他	20人以下

Q. 具体的に、いくら・どのような条件で 支援されますか？

補助率

2/3

補助対象経費の3分の2を
補助します。

補助上限額

50万円

原則として、最大50万円まで
補助されます。

上限額の引上げ

最大200万円

インボイス特例や賃金引上げ特
例などの要件を満たすことで、
上限が引き上げられます。

Q.「販路開拓」のために、どんなことに使えますか？



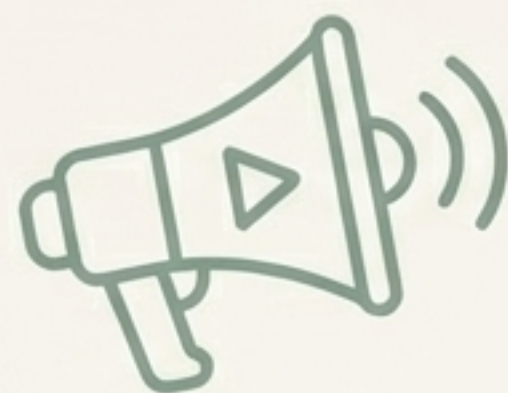
ウェブサイト関連費

ウェブサイト・ECサイトの新規構築、デザイン改修、多言語対応、SEO対策など



広報費

チラシ、パンフレット、名刺の作成、雑誌・インターネット広告（リスティング広告、SNS広告）の掲載費用など



委託・外注費

専門家によるSNSアカウントの運用代行、プロモーション動画制作、広告デザインなど



展示会等出展費

国内外の展示会への出展料、会場装飾、関連の旅費交通費など

Q. 「生産性向上」のためには、 どんなことに使えますか？



機械装置等費

業務効率化のためのパソコン、POSレジ、業務用プリンター、ソフトウェアの購入費用など



IT活用による業務効率化

顧客管理システム（CRM）、オンライン予約システム、セキュリティ対策ソフトの導入費用など



新商品開発費

新商品・新サービスの試作品開発にかかる材料費など



借料

補助事業の遂行に不可欠な機械設備等のレンタル・リース費用

申請への道のり：4つのステップ



計画書の作成

自社の課題と補助金で取り組む内容を具体化した「経営計画書」「事業計画書」を作成します。



商工会/会議所への相談

地域の商工会・商工会議所で計画の助言を受け、「事業支援計画書（様式4）」の発行を依頼します。



GビズIDの取得

電子申請に必須の「GビズIDプライム」アカウントを取得します。



電子申請

専用の電子申請システムから、全ての必要書類を提出します。※郵送申請は不可

採択の鍵を握る「事業計画書」。 審査員は何を見ているのか？

審査では、計画の説得力と実現可能性が最も重視されます。以下の4つのポイントを意識して作成しましょう。



- 1. 具体性・妥当性**
計画は現実的か？何を、いつ、どう行うかが明確か？



- 2. 経営状況・資金計画の適切性**
自社の課題を正しく把握し、補助金でどう解決するかが示されているか？



- 3. 革新性・新規性**
単なる現状維持ではなく、新しい価値を生み出す取り組みか？



- 4. 地域経済への貢献**
地域の雇用創出や活性化に繋がるか？

伝わる！採択される！計画書作成 3つのコツ



物語で語る

「課題 → 解決策 → 期待される効果」が一本の線で繋がるように、論理的に構成します。審査員が事業の未来をイメージできるように書きましょう。



数字で裏付ける

「売上○%アップ」「新規顧客○○人獲得」など、具体的な数値目標を設定します。過去の業績データも活用し、計画の妥当性を示しましょう。



熱意を込める

専門用語を避け、誰が読んでも分かる平易な言葉で、事業への想いや補助金活用の強い意欲を伝えます。

ひとりで悩まず、 専門家の力を借りよう

補助金申請は複雑に感じるかもしれませんが、強力なサポーターがいます。
積極的に活用しましょう。



商工会・商工会議所

補助金申請のプロフェッショナルです。事業計画書の作成支援や申請手続きのアドバイスを**無料**で提供しています。まずは相談することをお勧めします。



中小企業診断士など外部専門家

より専門的な視点からのアドバイスが必要な場合、専門家の活用も有効です。

活用事例①：地域の特産品が、全国区のヒット商品へ



課題

ある地域の農家。自慢の野菜も、販路が限られ収益が伸び悩んでいた。



アクション

補助金を活用し、野菜加工品（ドレッシング）を開発。デザイナーにパッケージ刷新を依頼し、SNSでのプロモーションを強化。



結果

洗練されたデザインが話題を呼び、全国から注文が殺到。ECサイトの売上が急増し、新たな収益の柱を確立。

活用事例②：実店舗の危機を、ECサイトで乗り越える



課題

コロナ禍で実店舗への客足が激減した小売店。売上減少に歯止めがかからない状況だった。

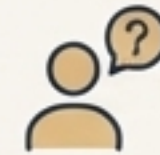
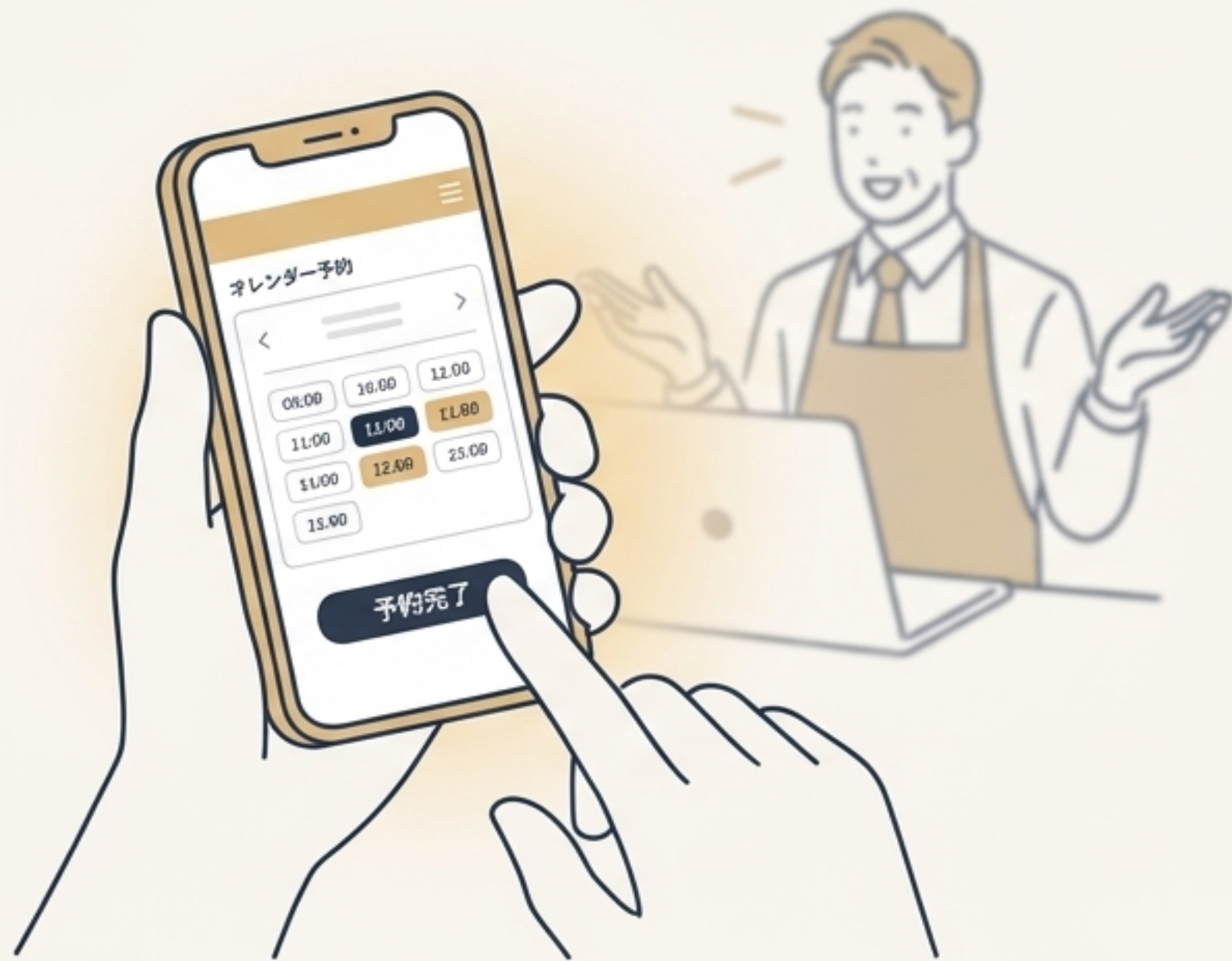
アクション

補助金で本格的なECサイトを構築。商品撮影からサイト構築、オンライン広告運用まで専門家に委託。

結果

実店舗の売上減をカバーするだけでなく、全国に新たな顧客層を獲得。事業全体の安定化に成功。

活用事例③：デジタル化で、顧客満足度と業務効率を両立



課題

小さな飲食店。電話での予約対応や手作業での売上管理に追われ、サービスの質に影響が出ていた。



アクション

補助金を活用し、オンライン予約システムとキャッシュレス決済を導入。



結果

予約・会計業務が自動化され、スタッフの負担が大幅に軽減。顧客の利便性も向上し、より質の高いサービス提供が可能になった。

あなたの旅は、ここから始まる

小規模事業者持続化補助金は、あなたの事業の未来を拓くための強力なツールです。
まずは、この3つのステップから始めてみませんか？



1. 自社の課題を整理する

今、一番解決したいことは何か？を書き出してみましょう。



2. 最寄りの商工会/会議所に相談する

あなたのアイデアを専門家と一緒に具体化しましょう。



3. GビズIDを取得する

申請の準備として、早めにアカウントを取得しておきましょう。

問い合わせ先

サポート行政書士法人 担当：福島（フクシマ）

fukushima@shigyo.co.jp

弊社ホームページ： <https://www.shigyo.co.jp/>
東京（新宿）・名古屋・大阪に拠点を構える行政書士法人です。



注意事項：本資料内の事例等は、実際にご相談のあった事例を参考に、具体的な案件の判別を避ける為に加工・編集して掲載しています。類似事例でも、時期・管轄行政機関等の前提が異なることによりご提案内容や結果も変わる為、ご注意ください。また、本資料内の全てのコンテンツ・内容等の無断転載・転用・複製等は、ご遠慮ください。